

道前平野農地整備事業 北条新田排水機場建設工事

本地区は四国有数の水田地帯であり、日本一の生産量を誇る裸麦やあたご柿をはじめ、多種多様な農作物の生産が盛んな地域です。

一方で農業生産基盤については全国的な整備水準から遅れているため、本事業により区画整理及び農業用排水施設の整備を一体的に行うこととしております。

本工事は、排水改良による湛水被害の解消を目的とした北条新田排水機場を建設するものであり、工事内容は、機場の本体工（基礎工、吸込水槽、吐出水槽）とこれに接続する排水樋門を新設するもので、R3年度からR5年度にかけて施工する国債工事です。

施工に必要な仮設工の設計と工事施工を一括して実施する精査積算方式の試行工事であり、工業用水管、特別高圧の送配電線や鉄塔に近接して工事を行うため、安全で合理的な仮設計画の策定や工期短縮等の施工の効率化を図る高い技術力が求められます。

また、排水樋門工については、河川内でセメントを使用する工事の工程制限があります。

現在は機場本体工の土留工を、名水百選の地下水「西条市のうちぬき」に代表される被圧帯水層に対する盤ぶくれ対策として、長さ21mの鋼矢板Ⅳ型を硬質地盤クリア工法にて施工中です。

今後は工程制限内に排水樋門工を完成し無事に竣工できるよう、作業所一丸となって工事を進めてまいります。



監督職員からのエール

北条新田排水機場は道前平野農地整備事業において北条地区の湛水被害解消のために新設するもので、本工事において機場下部工（土木工事）及び排水樋門を3か年の国債工事により施工しています。

機場建設予定地は、高圧電線路や鉄塔が隣接し、排水樋門建設予定地の直下に工業用水管が埋設されているほか、排水樋門建設予定地が海岸保全区域となっており、海苔養殖への影響を避けるため樋門本体の施工が夏場の数か月間に制約されるなど、大変厳しい条件下での施工となっています。

こうした中、監理技術者の北川作業所長には、常に先の工程を見据え、円滑な工事の進捗が図られるよう、各施工段階における懸念・課題事項などについて、近隣の類似工事の状況や過去の工事実績などの情報収集を行い、経済的かつ効率的な工法の検討、提案を頂いており、感謝しています。

工事は基礎工や土留工などようやく1/3を終え、これから本格的な作業となり現場が錯綜してきます。無事故無災害で工事完了の日が迎えられよう、引続きよろしくお祈りします。

監理技術者兼作業所長

(写真左) 東洋建設株式会社四国支店

北条新田排水機場建設工事作業所 北川 淳一

監督職員

(写真右) 中国四国農政局道前平野農地整備事業所

技術専門官 眞鍋 直子

